

# スケートリンクに関するアンケート 調査について

## 1. 調査目的

スケートリンクの利用者数予測及び運営に関する基礎資料とする。

## 2. 調査期間

平成25年7月下旬～8月下旬

### 3. 調査対象

以下の団体にアンケートを送付した。

- (1) 西日本のスケート連盟及び所属団体(50団体)
- (2) 西日本のアイスホッケー連盟及び所属団体(11団体)
- (3) 西日本のカーリング協会(6団体)
- (4) 西日本の大学のスケート部(スピードスケート、フィギュアスケート)、アイスホッケー部(68団体)

## 4. 調査方法

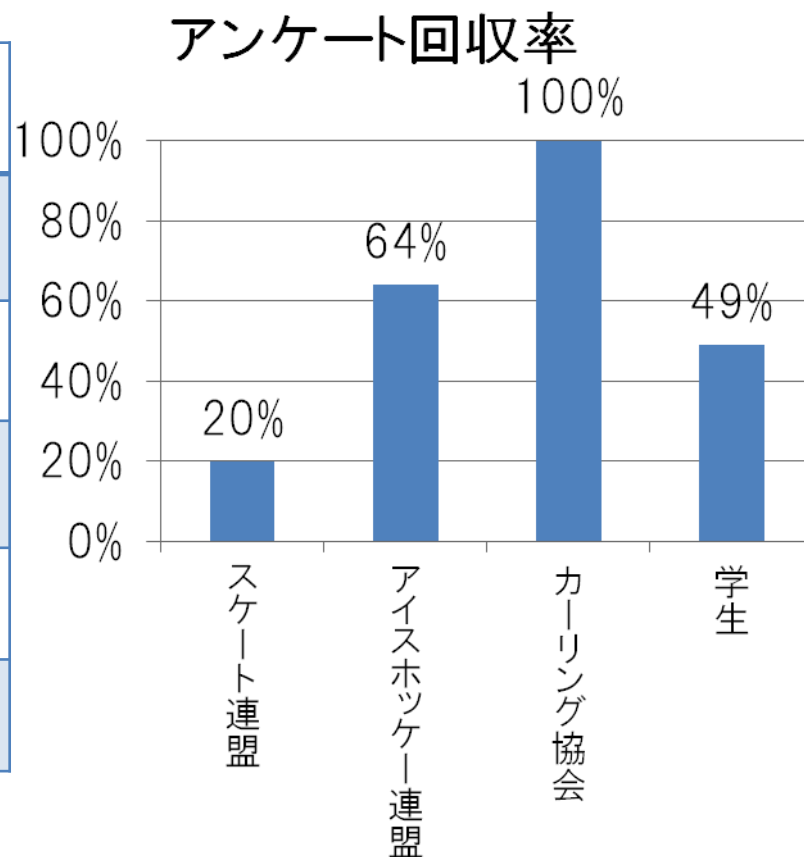
(1) 団体調査（135団体）

- ① 全団体を対象
- ② メール又は郵送による送付、回収

## 5. 回収率

41%（56／135団体）

	アンケート 送付数	アンケート 回答数	回収率
スケート連盟	50	10	20%
アイスホッケー 連盟	11	7	64%
カーリング協会	6	6	100%
学生	68	33	49%
計	135	56	41%



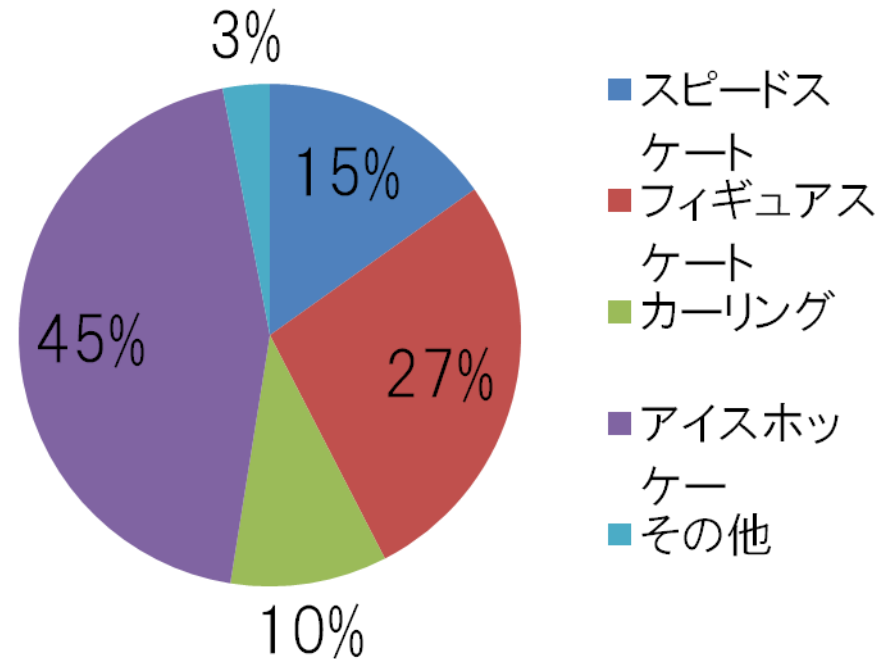
#### ◆考察

・アンケート回収率を団体別にみると、カーリング協会が100%(6/6)と最も高く、次いでアイスホッケー連盟が64%(7/11)、学生が49%(33/68)、スケート連盟が20%(10/50)であった。

# 6. アンケート調査内容

問2、貴団体の種目をお答えください。

項目	回答数	割合
スピードスケート	9	15%
フィギュアスケート	16	27%
カーリング	6	10%
アイスホッケー	26	44%
ショートトラック	2	3%
計	59	100%



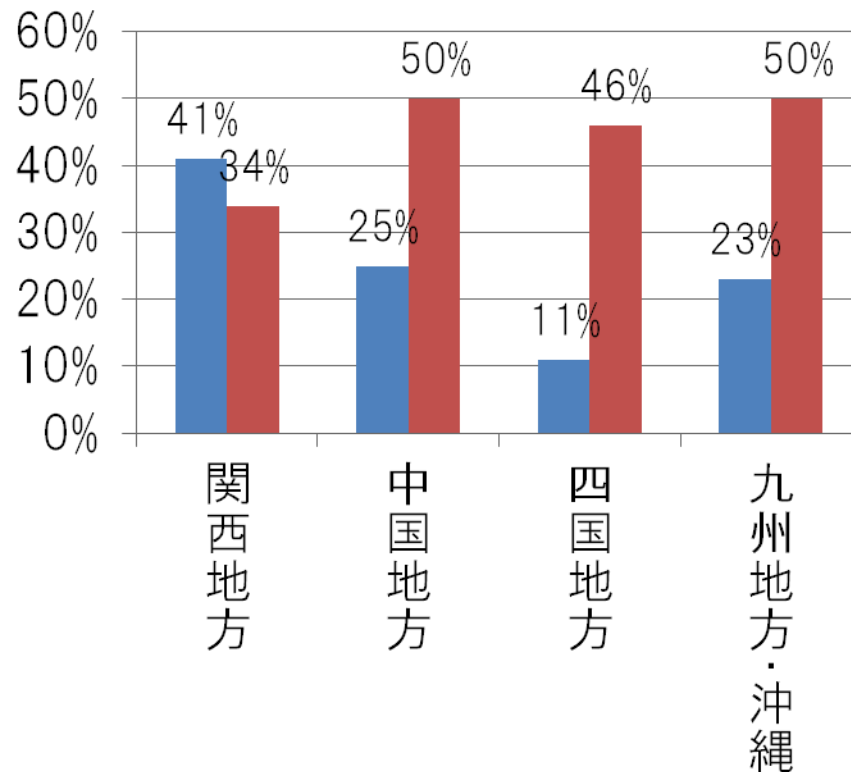
※回答数の計が59であるのは、一部複数回答の団体があるため。

## ◆考察

- ・回答があった団体の種目別では、アイスホッケーが44%(26/59)と一番多い。
- ・次いで、フィギュアスケートが27%(16/59)、スピードスケートが15%(9/59)、カーリングが10%(6/59)の順であった。

### 問3、貴団体の地域についてお答えください。

項目	回答数	割合	アンケート送付数	送付数に対する回答率
関西地方	23	41%	68	34%
中国地方	14	25%	28	50%
四国地方	6	11%	13	46%
九州地方・ 沖縄	13	23%	26	50%
計	56	100%	135	41%

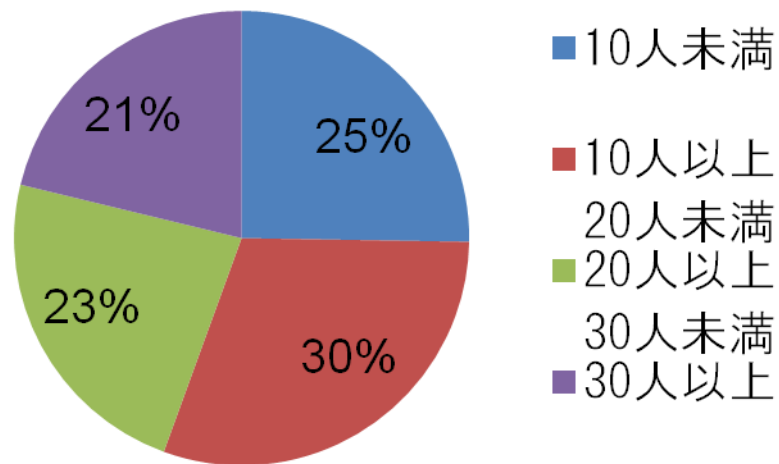


#### ◆考察

- ・アンケート回収率を地域別にみると、関西地方が41%(23/56)と最も高く、中国・四国地方は20%を超えていた。また、アンケート送付数に対する回答率をみると中国地方、九州地方・沖縄が50%と高かった。

## 問4、貴団体の所属人数をお答えください。

項目	回答数	割合
10人未満	14	25%
10人以上20人未満	17	30%
20人以上30人未満	13	23%
30人以上	12	21%
計	56	100%



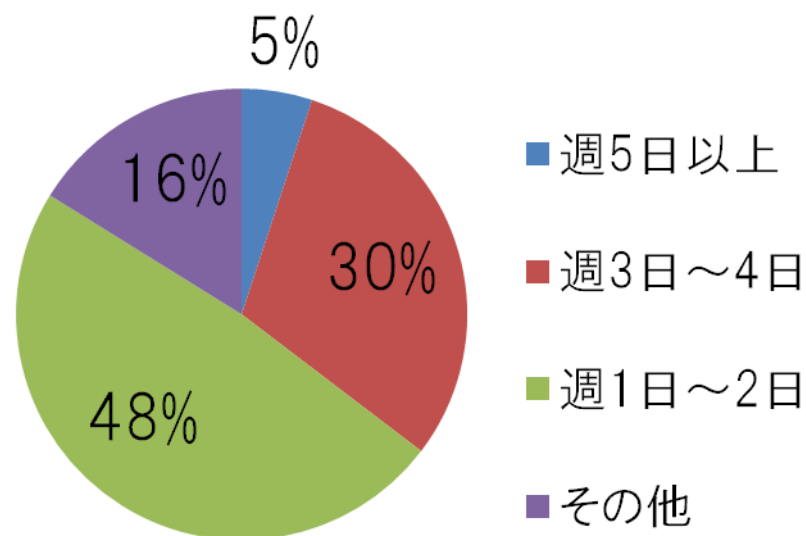
### ◆考察

- ・全56団体の内、所属人数が10人以上20人未満と答えた団体が17(30%)で最も高く、次いで20人以上30人未満が13(23%)、10人未満が14(25%)、30人以上が12(21%)であった。



## 問7、貴団体はどのくらいの頻度で活動をしていますか。

項目	回答数	割合
週5日以上	3	5%
週3日～4日	17	30%
週1日～2日	27	48%
その他	9	16%
計	56	100%

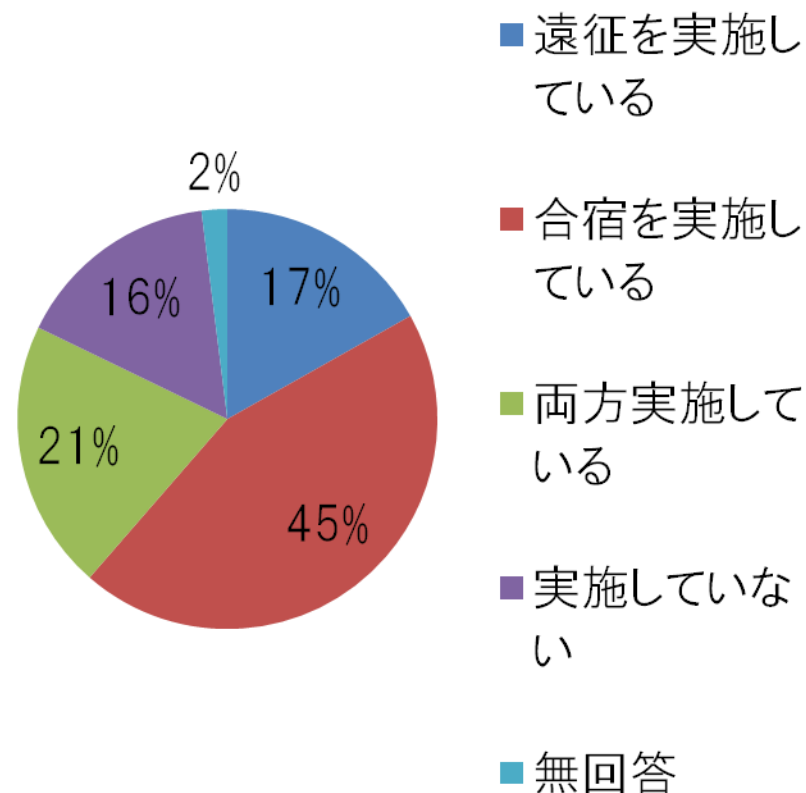


### ◆考察

- ・全56団体の内、活動頻度は週1日～2日が48%(27/56)と一番高く、次いで週3～4日が30%であった。
- ・その他の回答は、10日に1回、1カ月に1、2回というような内容であった。

## 問8、貴団体では、遠征や合宿を実施していますか。

項目	回答数	割合
遠征を実施している	10	17%
合宿を実施している	26	45%
両方実施している	12	21%
実施していない	9	16%
無回答	1	2%
計	58	100%



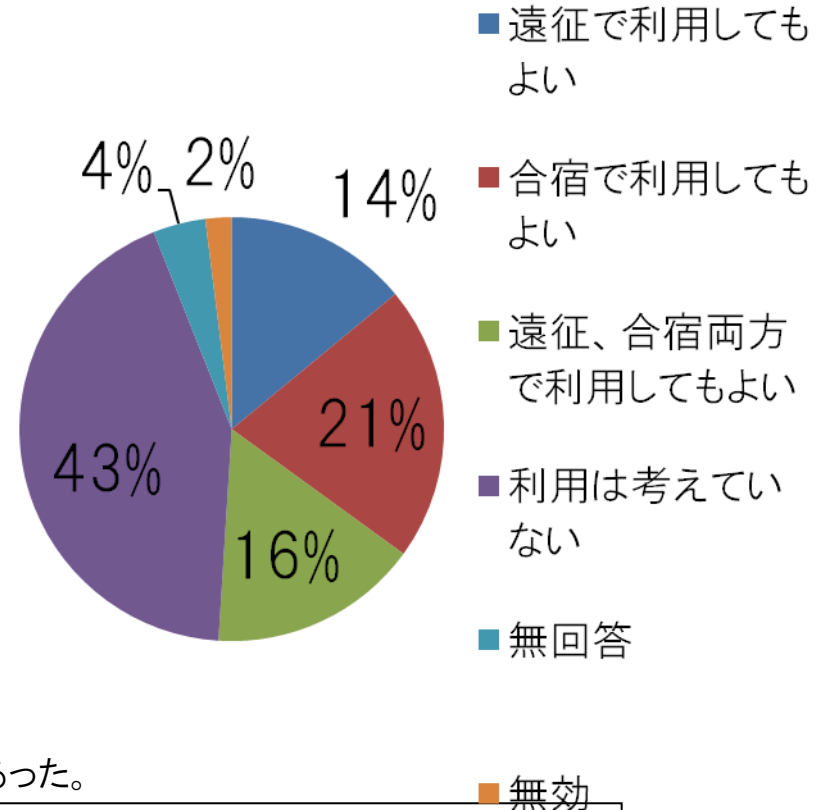
※回答数の計が58であるのは、一部複数回答の団体があるため。

### ◆考察

- ・全56団体のうち、遠征だけを実施している団体は17%(10団体)で、合宿だけを実施している団体は45%(26団体)であった。
- ・また、遠征、合宿を両方実施している団体は21%(12団体)であった。

## 問9、鳥取市にスケートリンクが整備された場合に、遠征や合宿などで利用してもいいと思いますか。

項目	回答数	割合
遠征で利用してもよい	8	14%
合宿で利用してもよい	12	21%
遠征、合宿両方で利用してもよい	9	16%
利用は考えていない	24	43%
無回答	2	4%
無効	1	2%
計	56	100%



※無効の内容は、遠征、合宿は個人に任せているという回答であった。

### ◆考察

- ・遠征で利用してもよいと答えた団体は8団体(14%)であり、合宿で利用してもよいと答えた団体は12団体(21%)であった。また、遠征、合宿両方で利用してもよいと考えている団体は9団体(16%)であった。全体として29団体(45%)が合宿や遠征の利用をしてもよいと回答している。
- ・一方で、利用は考えていない団体は24団体(43%)であった。

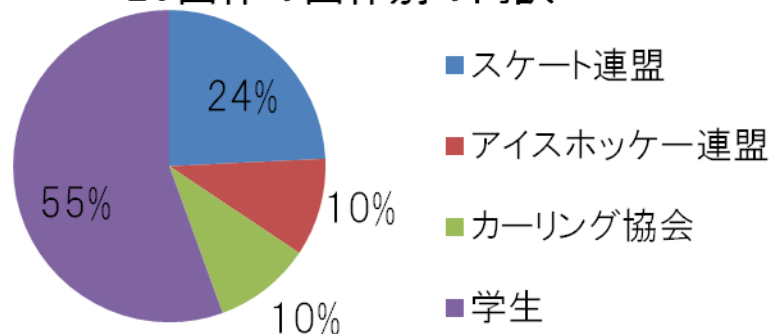
以下、問9で遠征、合宿、両方で利用してもよいと回答した29団体を対象とする。

◆遠征、合宿、両方で利用してもよいと回答した29の内訳

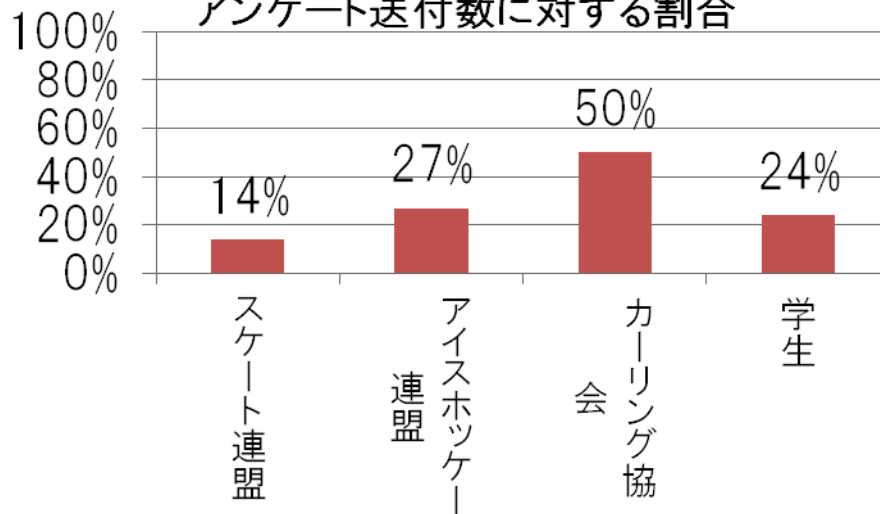
(団体別)

団体別	内訳	割合	アンケート送付数	送付数に対する割合
スケート連盟	7	24%	50	14%
アイスホッケー連盟	3	10%	11	27%
カーリング協会	3	10%	6	50%
学生	16	55%	68	24%
計	29	100%	135	21%

29団体の団体別の内訳



アンケート送付数に対する割合



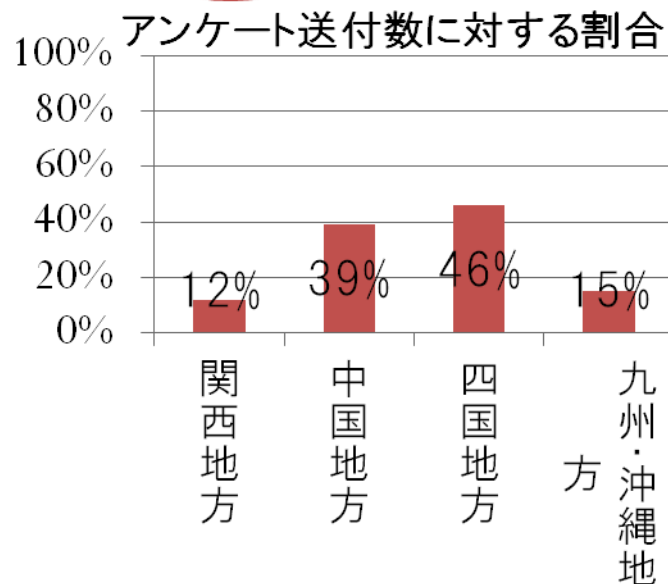
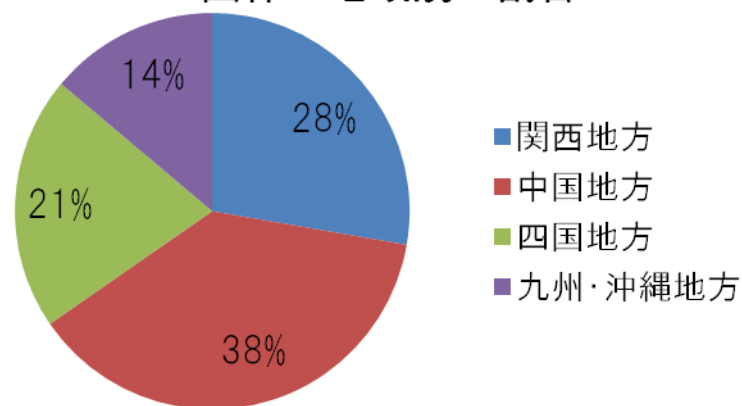
◆考察

・遠征、合宿、両方で利用してもよいと回答した29の団体の内、地域別にみると学生が16(55%)と最も高かった。また、アンケート送付数に対する割合で見ると、カーリング協会が50%(3/6)と最も高かった。

### (地域別)

地域別	内訳	割合	アンケート送付数	送付数に対する割合
関西地方	8	28%	68	12%
中国地方	11	38%	28	39%
四国地方	6	21%	13	46%
九州・沖縄地方	4	14%	26	15%
計	29	100%	135	21%

### 29団体の地域別の割合

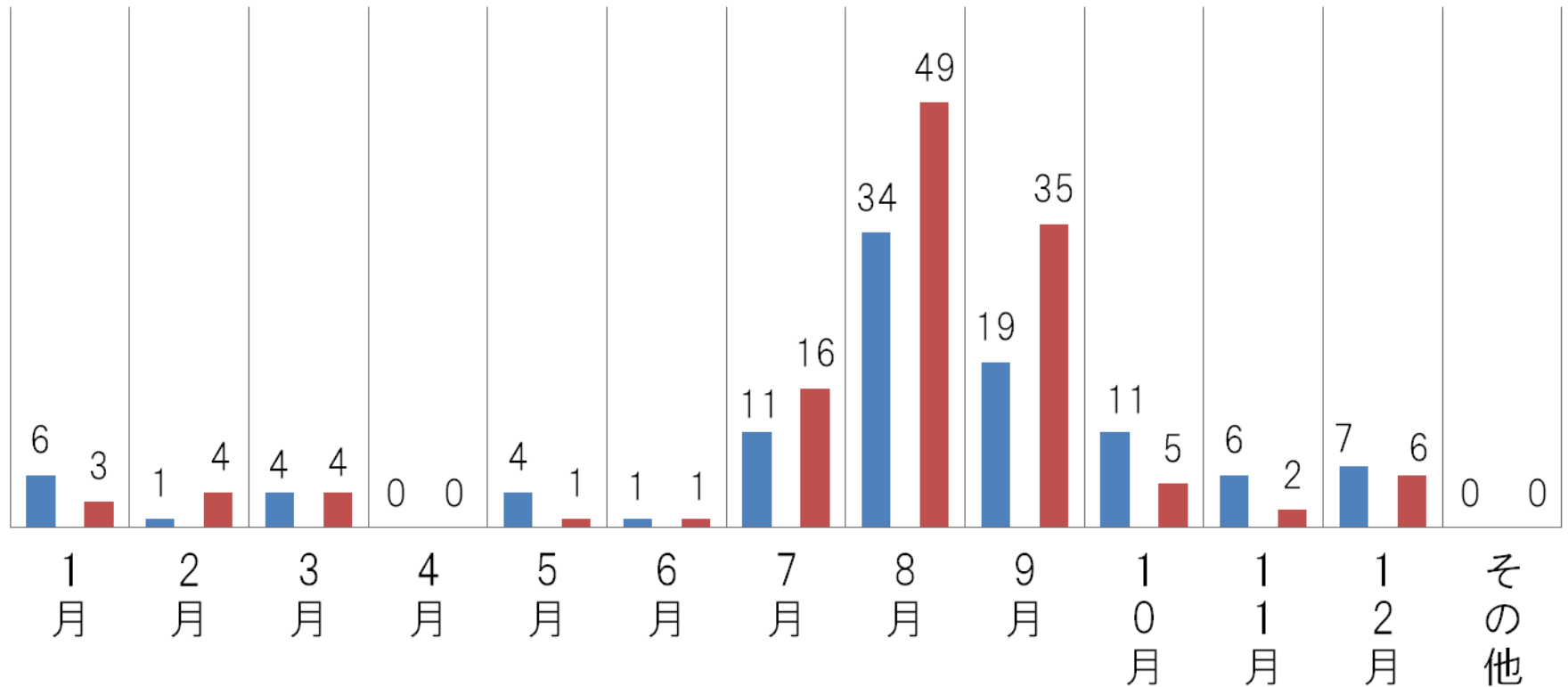


### ◆考察

・遠征、合宿、両方で利用してもよいと回答した29の団体の内、地域別で見ると中国地方が11(38%)と最も高く、次いで関西地方が8(28%)、四国地方が6(21%)であった。また、アンケート送付数に対する割合をみると、四国地方が46%(6/13)で、次いで中国地方が39%(11/28)であった。

## 問10: 希望する使用月は何月ですか。

■ 遠征 ■ 合宿



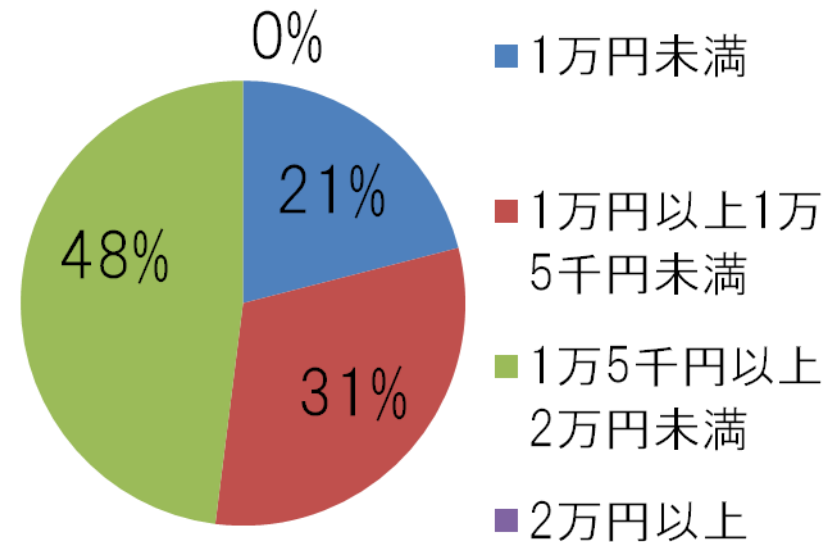
※第一希望は3点、第二希望は2点、第三希望は1点とし、各月の合計点を算出した。

### ◆考察

- ・遠征、合宿を希望する使用月は、ほぼ同じ傾向で、8月が最も高く、次いで9月が高かった。

問11、団体の貸し切り利用料金(入場料を徴収してリンクを使用する場合を除く)は1時間あたりいくらが適当だと思われませんか。

項目	回答数	割合
1万円未満	6	21%
1万円以上 1万5千円未満	9	31%
1万5千円以上 2万円未満	14	48%
2万円以上	0	0%
計	29	100%



#### ◆考察

- ・本施設の団体の貸し切り利用料金は、1時間あたり1万5千円以上2万円未満が48%(14/29)と最も多く、次いで1万円以上1万5千円未満が31%(9/29)であった。
- ・1万円未満と回答した関西の団体の中には、関西から鳥取までの交通費、宿泊費を考えると、リンクの使用料が関西に比べて大幅に安くないとメリットがないとの回答もあった。

## 問12、その他ご意見等ありましたらご記入ください。

### 〈主な意見〉

- ・通年リンクがよい。
- ・リンクは使い勝手が生命線であるので、遅い時間も利用できるようにすべき。また、民間委託を行い、近くに合宿所を整備すべき。
- ・フィギュア・ショートトラックの大会の招致を検討していただきたい。
- ・カーリングのシートを2つ以上作っていただくこと、ストーンを数セット整備していただきたい。
- ・前向きなリンク建設を行っていただきたい。